

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高齢者向け地域支え合い事業
事業主体 (連絡先)	シルバーカフェ安曇野 (安曇野市三郷明盛 4593-1 TEL77-7007)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,379,744 円 (うち支援金: 1,103,000 円)

### 事業内容

- ① 高齢者生活充実講座、認知症予防講座など種々のイベントを計画実施し、高齢者の心と体の健康増進を図った。(・健康教室・絵手紙・オカリナ・フォークソング・手芸・お箏・童謡唱歌・マージャン・おやつ作り・社交ダンス・美容講座・手話歌・スマホ、パソコンQ&Aなど)
- ② 5月27日「生き生きうたごえカフェ in 安曇野」を三郷公民館講堂で実施し、出演者の演奏に合わせて200名以上の方々が一緒に歌って楽しんだ。(演奏は当カフェの音楽イベントの講師やプロのお喜楽ボーイズ。プロジェクターで歌詞を映し出し、全員が歌えるようにした。)



【生き生きうたごえカフェ in 安曇野】

#### 【目標・ねらい】

- ① ①高齢者のうつ病の予防
- ② 高齢者の認知症の予防
- ③ 高齢者の社会参加
- ④ 地域企業のサポート

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 今まで家に閉じこもりがちで会話が少なかった方がイベントに参加し、いろんな方と会話したり笑ったりして元気になっている。
- ② 歌ったり、作品作りやマージャンをすることで脳を活性化させ認知症の予防にもつながっている。
- ③ 新しい友達ができてカフェ以外でもつながりができている。利用者の中からイベント講師を引き受けて下さる方が出て、社会参加が積極的になってきている。
- ④ 市の「生活支援サービスガイドブック」への掲載、市の関係者の見学、フォーラムでの活動発表者に選定してもらえるようになった。

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

- ・毎月定期的に講座を実施したことでリピーターが増え、利用者同士が仲良くなってきた。
- ・市にイベントの後援を依頼したことで市とのつながりができ、カフェの活動を広く知っていただくことができた。
- ・見学者が増えた。

### 今後の取り組み

高齢者が当カフェを利用することは心と体の健康維持に役立っていることは利用者の様子から実感できた。多くの方に当カフェのイベントスケジュールを知ってもらい、利用回数を増やしてもらうには、スケジュールの入ったチラシの作成と安価な利用料が大事と考える。チラシ作成、折込の費用は膨大で会費収入では到底作成することはできないが、支援金のおかげで作成ができ、地域の方々に知っていただくことができた。来年度も支援対象事業になれるよう計画をしっかりと立て運営していきたい。また、本年は安曇野市市民活動サポートセンターへ加入したので、市民に向けての情報発信をしていきたいと考えている。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある